

平成 29 年度入学試験問題

推薦入学・帰国子女特別選抜・社会人特別選抜・編入学

小 論 文

注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は 8 ページ、解答用紙は 2 枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

問題 1 (100 点)

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

民主主義は道具だ。何を決めるかではなく、いかに決めるかについての、不完全で欠陥の多い、しかし、今のところこれに代わるこれ以上のものがないと思われている、道具である。民主主義という道具を使うにあたって、次のふたつのことは、念頭に置いておいたほうがよい。

第1は、民主主義はたんなる道具だから、それを使ってつくる作品の質を保証しない、つまり何を決めるかの決定の正しさを、すこしも保証しない、ということである。どんなに民主的に決められたことでも、困ったこと、間違ったこと、愚かなことを決定する可能性はいつでもある。なぜなら、それは人間という不完全で限界のある存在が決めることだから。例えば、20世紀の初めには、世界でいちばん民主的な憲法と言われたドイツのワイマール憲法のもとで、きわめて「民主的」にナチスの独裁政権が成立した。21世紀の初めにも、9.11以後のアメリカでブッシュ大統領が始めたイラク戦争にアメリカ議会の大多数が賛成したが、あとになってその戦争には大義もなければ根拠もなく、結果は失敗だったことがわかった。

なのに、なぜ民主主義が擁護されるかといえば、それは意思決定者である主権者が納得して決めたことだから。失政も愚策も、主権者が自らそのツケを負うことになる。そうでなければ、わたしたちは、君主や独裁者など——たとえそれが「賢人」であれ——他の誰かの決定に、自分の運命を委ねることになる。主権者であるとは、「自分の運命を自分で決めることのできる、他人に譲り渡すことのできない至高の権利」の保持者である、ということだ。主権を行使する、とは、この意思決定権を行使する、ということである。主権者には「間違える権利」もあるが、だからこそその結果を引き受ける責任もある。自分の運命を他人任せにしない、ということが民主主義の核心にある。

第2は、民主主義は道具だから、使い方に習熟しなければならないし、使わなければ錆びる、ということだ。民主主義は選挙や国会の中だけにあるのではない。ものごとを取り決める過程のすべてに、民主主義という道具は関係する。それならその道具に習熟するには、子どものときから、家庭や学校や地域のすべての場所で、民主主義

を学んで身につける必要があるのではないか。学校で教師が「みんなで決めた規則だから守りましょう」という。それが納得できないのは、「みんなで決めた」といいながら、その実「教師が押しつけた」規則だからだ。生徒が規則を守るのは教師に服従しているからで、納得しているからではない。こんな学校には民主主義はない。あるいは家庭で今日の食事は誰がつくるのかをどうやって決めているだろうか。妻だからつくるのがあたりまえ、夫だから遅く帰ってもかまわない、というのは、規範や習俗や男女の力関係に従った支配―服従関係にはかならない。お互いに納得のいく話し合いの結果でなければ、家庭に民主主義があるとはいえない。

1994年、国際家族年の標語は、「家族から始まる小さなデモクラシー（民主主義）」というものだった。家族は社会の最小単位。そこに民主主義がなければ、それよりもっと大きな社会に民主主義が広がることはのぞめない。ちなみに企業や軍隊のなかに、民主主義はない。指揮命令系統のもとで支配と服従があるだけだ。

もうひとつ付け加えれば、民主主義はひとつではない。代議制民主主義だけが民主主義ではないし、多数決だけが民主主義ではない。間接民主主義だけでなく、直接民主主義もある。熟議民主主義もあるし、ラディカル・デモクラシーもある。民主主義は欠陥の多い道具だから、いろんなひとたちがいろんなしかたで、試行錯誤しながら道具を精錬しているのだ。

そう思えば、民主主義という道具を使うのは、思ったよりもたいへんなことがわかるだろう。日々の暮らしのなかで、民主主義を使わなければ、民主主義は学べない。家庭のなかで、学校のなかで、地域のなかで、話し合いをすること、異見を言うこと、異見に耳を傾けること、少数意見を排除しないこと、話し合いの前と後とで、自分と相手の意見が変わること……そういうテーマヒマのかかるめんどくさい過程を経て、関わるひとたち全員が納得できる意思決定が行われる経験を積み重ねなければ、民主主義は身につかない。

わたしがとっても心配なのは……いまのあなたの家庭や学校に、民主主義を学ぶ機会はあるだろうか、ということだ。民主主義は、18歳になって選挙権とともに突然あなたに与えられるわけではない。18歳までに、あなたがどんな環境で育ってきたかも問われるのだろう。それを覚えておいてほしい。

【出典】上野千鶴子「民主主義という道具を使いこなす」

『18歳からの民主主義』（岩波新書，2016年）所収

設問1 筆者は、「民主主義という道具」についてどのように考えていますか，300字以内でまとめなさい。

設問2 筆者は、「いまのあなたの家庭や学校に、民主主義を学ぶ機会はあるだろうか」と心配しています。事実，今回の選挙権年齢の引き下げ決定に際して，18歳の人たちは，民主主義によるその意思決定に，主権者として参加したわけではありません。これらのことを踏まえて，「民主主義」についてあなたの考えを500字以内で述べなさい。

問題 2 (100 点)

以下の図表をもとに、次の設問に答えなさい。

設問 1 図表 1-1 から 1-3 をもとに、日本の貿易の量的・質的变化と今日の特徴を 300 字以内で説明しなさい。

設問 2 図表 2-1 から 2-3 をもとに、世界の貿易の特徴について、日本、中国、アメリカ、ドイツを中心に 300 字以内で説明しなさい。

【出典】図表 1-1, 1-2, 1-3, 2-2

矢野恒太記念会編 (2015) 『日本国勢図会 (2015/2016)』国勢社

図表 2-1, 2-3

矢野恒太記念会編 (2015) 『世界国勢図会 (2015/2016)』国勢社

※ 出題にあたり、図表の一部を加工修正しています。

図表 1-1 日本の主要輸出品の推移 (商品の内訳)

単位：億円

1960			2012	2013	2014
繊維品	4 404	機械類	242 480	254 107	268 685
うち綿織物	1 265	うち集積回路	22 293	24 314	24 920
衣類	794	内燃機関	17 827	19 703	20 063
化繊織物	631	電気回路用品	16 247	17 241	18 353
機械類	1 784	電気計測機器	12 405	13 140	14 089
うちラジオ受信機	521	自動車	92 250	104 125	109 194
鉄鋼	1 397	鉄鋼	34 955	37 931	39 584
船舶	1 037	自動車部品	32 051	34 762	34 750
魚介類	629	精密機械	21 894	23 268	25 513
金属製品	532	有機化合物	18 183	25 204	24 396
精密機械	346	プラスチック	20 429	22 593	24 129
がん具	324	石油製品	9 743	14 787	14 790
自動車	281	船舶	17 160	14 518	12 995
はきもの	260	金属製品	10 483	11 382	11 857
計	14 596	計	637 476	697 742	730 930

注 計はその他の輸出品も含んだ数値である。

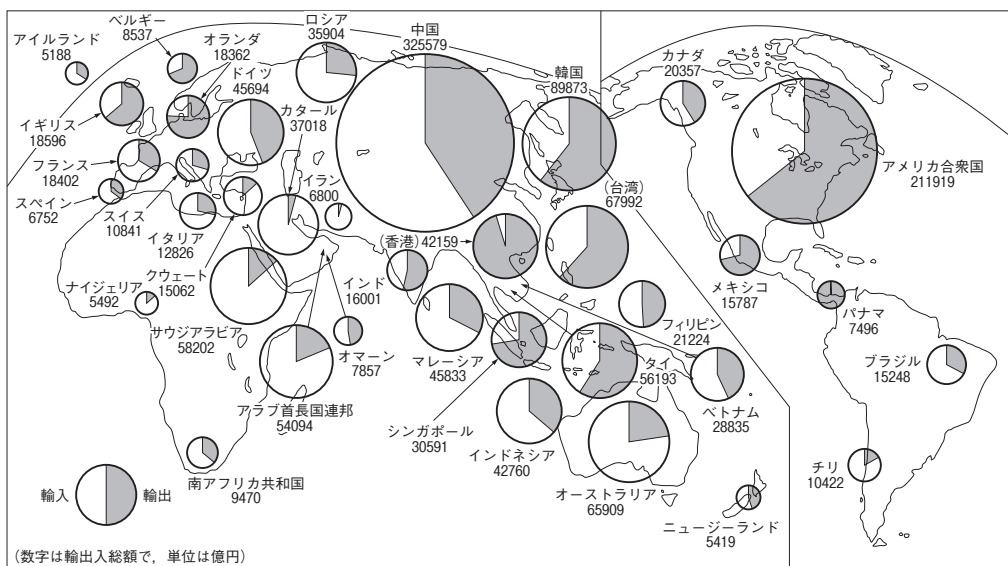
図表 1-2 日本の主要輸入品の推移 (商品の内訳)

単位：億円

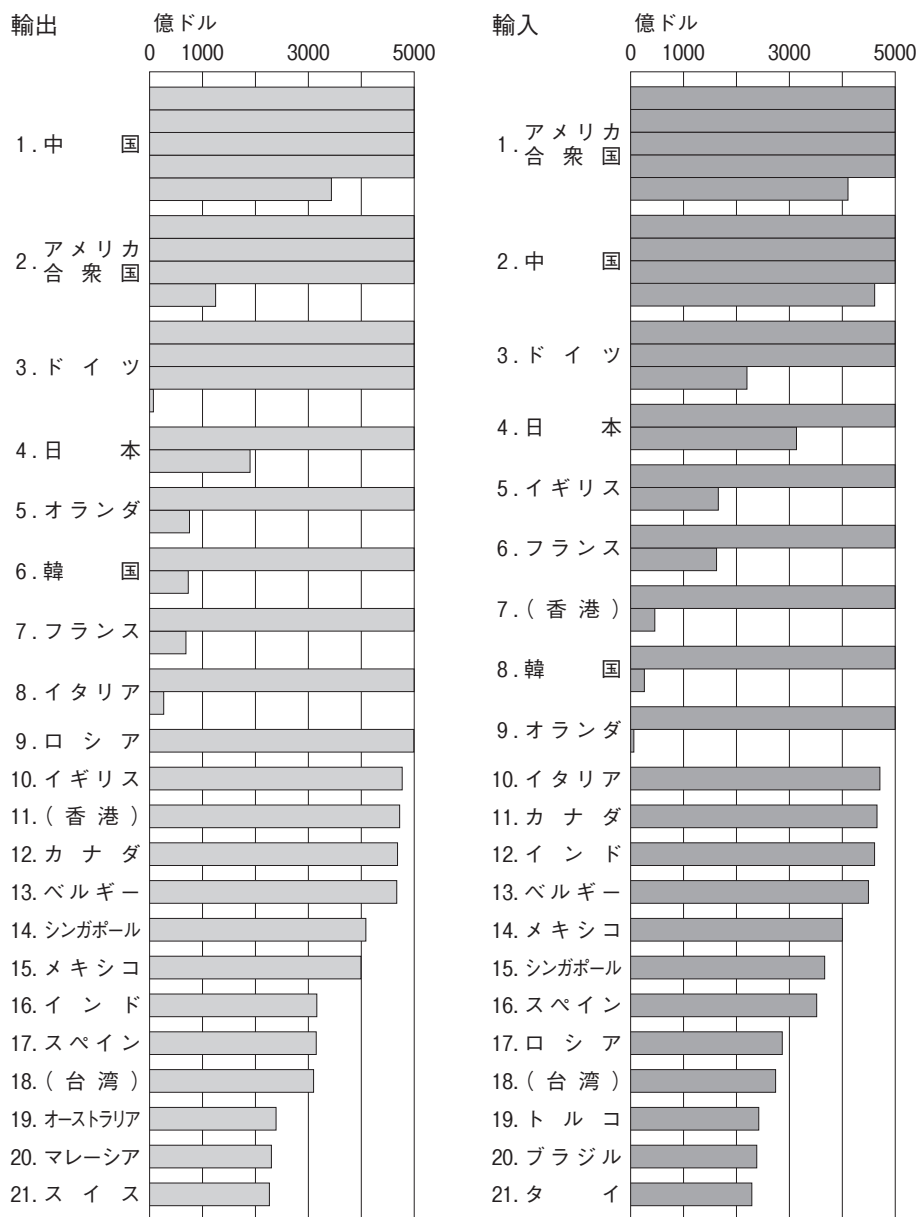
1960			2012	2013	2014
繊維原料	2 843	機械類	134 417	162 782	182 935
うち綿花	1 512	うち通信機	21 487	26 787	28 652
羊毛	955	コンピュータ	16 485	19 276	21 219
石油	2 161	石油	147 090	169 502	165 809
うち原油	1 674	原油	122 472	142 448	138 734
機械類	1 137	石油製品	24 618	27 054	27 075
鉄くず	827	液化ガス	70 254	81 312	89 374
鉄鉱石	769	衣類	26 804	32 480	32 602
小麦	637	医薬品	19 407	21 382	22 140
木材	613	石炭	23 206	23 073	20 855
石炭	508	精密機械	15 802	17 504	18 990
生ゴム	453	鉄鉱石	15 263	16 804	16 836
砂糖	400	有機化合物	13 977	15 205	15 490
大豆	387	魚介類	14 002	14 660	15 244
鉄鋼	315	肉類	10 599	11 662	13 352
計	16 168	計	706 886	812 425	859 091

注 計はその他の輸入品も含んだ数値である。

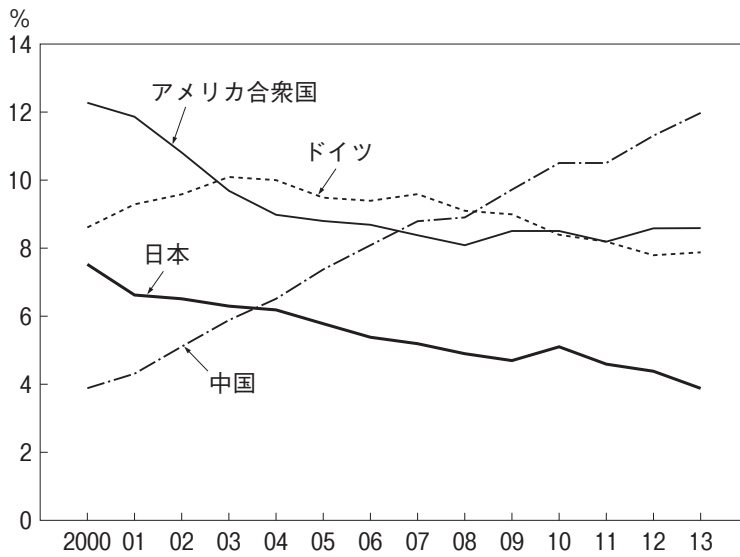
図表 1-3 日本の主な貿易相手国（2014年）



図表2-1 世界の輸出と輸入のランキング（2014年）



図表 2-2 世界の輸出総額に占める主要国の割合



図表 2-3 主要国の輸出超過額・輸入超過額の推移

